

令和4年度 大桑小学校

第3回学校運営協議会（学校応援団本部会議）

令和5年2月21日

会場：校長室・各教室

進行・記録：教頭

- | | | |
|---|---|--------|
| 1 | 授業参観
・各教室 | 9：00～ |
| 2 | 挨拶
・学校運営協議会 会長
・大桑小学校 校長 | 9：40～ |
| 3 | 令和4年度後期学校関係者評価について
・児童・保護者評価（教頭）
・職員自己評価（教頭）
・学校経営について（校長） | 9：45～ |
| 4 | 令和5年度学校経営グランドデザインについて
・学校経営グランドデザイン（校長）
・高富中校区小規模小学校連携構想（校長） | 10：00～ |
| 5 | 令和5年度学校行事案について
・学校行事案（教頭） | 10：15～ |
| 6 | その他・ご意見等 | 10：20～ |
| 7 | 傍聴人 | |

令和4年度後期学校評価結果

調査日 令和4年12月5日～12月18日

数値は「そう思う」「少しそう思う」、「良好」「やや良好」、「とてもよい」「よい」という肯定的な回答の割合

児童アンケート

主に学校での生活にかかわること

	R4後期	R4前期	R3後期	R3前期	R4前期と3%以上の差があったもの	R3後期と3%以上の差があったもの
1 自分にはよいところがある。	88.9%	86.4%	92.7%	92.7%		↓
2 先生は、自分のよいところをほめている。	100.0%	95.5%	100.0%	97.6%	↑	
3 学校の友だちや先生に、大きな声であいさつをしている。	97.8%	95.5%	97.6%	92.7%		
4 自分は、将来の夢や目標をもっている。	91.1%	88.6%	92.7%	87.8%		
5 学校は楽しい。	100.0%	97.7%	100.0%	100.0%		
6 学校の授業は、楽しい。	100.0%	95.5%	100.0%	100.0%	↑	
7 先生の授業は、分かりやすい。	100.0%	97.7%	100.0%	97.6%		
8 学校の一員として、進んで役に立つことをしている。	95.6%	88.6%	95.1%	92.7%	↑	
9 よいことをしている友だちに「ありがとう」とよく声をかけている。	100.0%	97.7%	97.6%	100.0%		
10 友だちと協力し、ボランティアや委員会活動などで、よりよいくらしを作っている。	93.3%	97.7%	97.6%	90.2%	↓	↓
11 学校（生活）のきまりを守っている。	97.8%	100.0%	100.0%	97.6%		
12 授業の中で、自分の考えをがんばって発表している。	95.6%	86.4%	95.1%	92.7%	↑	
13 友だちの意見を、うなずいたり反応したりして聞いている。	97.8%	97.7%	97.6%	97.6%		
14 教室の机の引き出し・ロッカーなど、自分の持ち物をきちんと整理整頓している。	91.1%	88.6%	92.7%	92.7%		
15 休み時間には、進んで外で遊んでいる。	97.8%	93.2%	100.0%	100.0%	↑	
16 いじめがあった（見た）とき、相談できる人はいる。	95.6%	97.7%	97.6%	90.2%		

主に家庭や地域での生活にかかわること

	R4後期	R4前期	R3後期	R3前期	R4前期と3%以上の差があったもの	R3後期と3%以上の差があったもの
17 家庭学習を、目安の時間（例；6年生は60分）している。	100.0%	100.0%	97.6%	95.1%		
18 家や学園で、自分から進んで宿題に取り組んでいる。	95.6%	97.7%	100.0%	100.0%		↓
19 家族（学園の先生）に、学校であった話をしている。	91.1%	88.6%	87.8%	92.7%		↑
20 家族（学園の先生）は、自分のよいところをほめている。	97.8%	95.5%	92.7%	92.7%		↑
21 学校から帰ってからの生活では、「早寝・早起き・朝ごはん」を行っている。	93.3%	97.7%	95.1%	97.6%	↓	
22 家（学園）で、自分の部屋や自分の持ち物をきちんと整理整頓している。	93.3%	93.2%	95.1%	90.2%		
23 地域の人に、相手に聞こえる声であいさつしている。	93.3%	93.2%	97.6%	97.6%		↓
24 大森で行われている行事、ボランティアなどに、よく参加している。	95.6%	90.9%	90.2%	92.7%	↑	↑
25 ドライバーとアイコンタクト（会釈）をしている。	95.6%	81.8%	90.2%		↑	↑

保護者アンケート

主に学校の取組にかかわること

	R4後期	R4前期	R3後期	R3前期	R4前期と3%以上の差があったもの	R3後期と3%以上の差があったもの
26 子どもは、喜んで学校に通っている。	100.0%	92.1%	100.0%	97.5%	↑	
27 子どもは、授業が楽しいと言っている。	97.8%	92.1%	100.0%	95.0%	↑	
28 子どもは、授業が分かりやすいと言っている。	93.3%	89.5%	100.0%	95.0%	↑	↓
29 学校は、規律ある生活やいじめを許さない風上をつくりあげている。	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%		
30 学校は、子どもを理解し、よさを伸ばすように努めている。	100.0%	97.4%	100.0%	100.0%		
31 学校の活動の様子が、便りなどを通して伝わっている。	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%		
32 来校時や電話、相談などの学校職員の対応は適切である。	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%		

主に家庭や地域での生活にかかわること

	R4後期	R4前期	R3後期	R3前期	R4前期と3%以上の差があったもの	R3後期と3%以上の差があったもの
33 「早寝・早起き・朝ごはん」等の規則正しい生活に努めている。	86.7%	86.8%	84.4%	85.0%		
34 家庭では、ゲームやネットより、スポーツや外遊びを優先している。	55.6%	76.3%	78.1%	72.5%	↓	↓
35 自分の部屋や道具の整理整頓ができています。	53.3%	52.6%	53.1%	52.5%		
36 役割を決めてお手伝いをしている。	84.4%	76.3%	96.9%	87.5%	↑	↓
37 家庭学習をする習慣が身に付いている。	91.1%	89.5%	93.8%	90.0%		
38 家庭（学園）内で、子どものよさをほめている。	95.6%	94.7%	100.0%	100.0%		↓
39 子どもは、いつでもどこでも誰に対しても挨拶ができる。	77.8%	71.1%	87.5%	82.5%	↑	↓
40 子どもは、学校のできごとや友だちの話をよくする。	84.4%	84.2%	90.6%	95.0%		↓

本年度の学校やP T Aの特徴的な取組について

	R4後期	R4前期	R3後期	R3前期	R4前期と3%以上の差があったもの	R3後期と3%以上の差があったもの
41 学校が教え方を工夫するなど、分かりやすく教えることについて	100.0%	97.4%	96.9%	100.0%		↑
42 かしの木フェスタや学習発表会、福祉施設との交流など、地域と連携した活動について	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%		
43 安全への配慮や、自分の命を自分で守る力をつける取組について	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%		
44 体育館で行うスポーツ用品を利用した体力づくりについて	100.0%	100.0%	96.9%	100.0%		↑
45 たくましい子に育てる「よさの通帳・ハイタッチ挨拶・ほめほめカレンダー」の取組	95.6%	97.4%	100.0%	97.5%		↓
46 新型コロナウイルス感染症対策について	100.0%	100.0%	100.0%			↑

保護者学校評価記述内容とその回答

19 体育の時間以外での体育的な活動について

【ご意見】

- ・ 持久力をつける運動、マラソン、昔の遊び
- ・ ゴム飛び、持久走など
- ・ ウォーキング大会等への参加
- ・ いつでもバランスボールお昼休みに伝えに行きますので、特に雨や雪の時には、体育館で遊べますので。いつでもお声掛け下さい。

【回答】

ありがとうございます。コロナ禍が3年も続き、子どもたちの体力の低下が叫ばれています。体力作りの企画についても皆様のご意見をもとに、一層すすめていきたいと考えています。

20 たくましい子に育てることについて

【ご意見】

- ・ ほめほめウィークは、無しにしていい気がします。

【回答】

P T A活動のうち、在宅型の活動として、これまで取り組んできました。P T A活動については、コロナ禍でもあり、常に本部役員さんの意見も聞きながら見直しを図っています。今後、新旧役員引継会もありますので、話題にしたいと思います。

大桑小学校年度末 学校評価表(まとめ)

後期の反省を3学期・来年度の指導に生かす

5できた 4おおむねできた 2ややできてない 1できてない ◎…0.5以上増 ×…0.5以上減

重点	今年度の観点	評価の窓	R4後期	R4前期	R4前期との比較	R3後期	R3後期との比較
学びを進める力の育成 「伸びた」が実感できる授業づくりと自分たちで	目指す姿の定着(学力)	めざす学力を児童に身に付ける。	3.7	3.5		4	
	目指す姿(授業)の明確化と見届け	本時で目指す姿を具体的にもって授業を始める。見届けの場を明確にし、状況に応じた指導・援助を行う	4.1	4.0		4	
	教材教具の工夫と活用	学習意欲を高め、効果を上げるために教材教具を工夫する。	4.1	3.9		4.4	
	目指す姿の定着(表現力)	児童は、自分の意見を積極的に発言している。	3.4	3.5		3.5	
	子どもの追究意欲を高め思考を大切にする	子どもに言わせたい言葉を具体化し、そのためにどのような展開、発問をするかを吟味する。	3.7	3.1 ◎		3.4	
	学習のねらいに迫るための学習活動の工夫	自分の考えを書いたり、相手に伝えたりする場を位置付ける。	4.0	3.9		3.9	
	目指す姿の定着(学習規範)	児童に学習規範が身に付いている。 (話し方・聞き方、ノートの使い方)	4.0	3.4 ◎		3.7	
	学習規律・学習姿勢・学習習慣の定着	学習姿勢、学習習慣の定着を継続して指導する。	4.1	4.0		4.2	
		児童の発表(話)は最後まで聞く。 (児童の発表中に口をはさまない)	4.4	4.3		4	
		活動に節目をもって授業を進める。(活動を区切るときは、全員が止めたことを見届けてから、次の指示を出す。)	4.0	3.8		4.5 ×	
		授業は、時間を守って終わる。	4.1	4.3		3.9	
	目指す姿の定着(学習習慣)	学年や実態に応じた家庭学習が定着している。	4.2	3.9		4.2	
	家庭や地域との連携 学習内容を確実に定着させるための指導	授業とつながりをもたせ、家庭学習の習慣が身に付くよう指導する。	4.3	4.3		4.4	
成長 温かい人間関係の中で 支え合いながら、たくましく生きる力を育	目指す姿の定着(自己有用感)	児童の自己有用感が高まっている。	4.0	3.3 ◎		4.2	
	日常生活における豊かな心を育む活動 (体験活動 等)	教育活動全体を通して道徳的实践ができる指導・啓発に努める。	3.9	4.0		3.9	
	心に響く道徳の授業	話し合いや交流を通して、道徳的価値について考える	3.7	3.3		3.2	
	自己啓発力・自己指導能力の育成	一歩立ち止まって、子供自身に「考えさせる」「見つめさせる」 ゆとりをもった指導・啓発にあたる。	3.4	3.5		3.8	
	意図的計画的な指導(見通し)	学級(学校)目標を意識して活動と指導を関連づけた実践を行う。	4.2	3.9		3.9	
	心の居場所となる教育環境	存在感や所属感・有用感を味わうことができる学級(学校)集団 づくりに努める。	4.2	4.1		4.2	
	自己有用感と自己肯定感の醸成 「ありがとう」と「すごいね」の使い分け	良い行いには、子供にも感謝の気持ちをもって接し、「ありがとう」の言葉が広がるよう努める。	4.3	4.3		4.6	
		行為と心情をつなげて価値に気付かせるなど、ほめる指導の内容を高め、自己肯定感を育てていく指導に努める。	4.3	4.0		4	
	いじめ防止への啓発	いじめを絶対許さないという構えで、「いじめ見逃し0」に努める。	4.6	4.8		4.6	
	目指す姿の定着(生活規範・生活習慣)	児童に生活規範が身に付いている。 (きまり・ルールを守る)	4.0	3.8		2.9 ◎	
		児童に生活習慣が身に付いている。 (身の回りの整理・整頓 等)	3.4	3.3		3.2	
		誰にでも相手に伝わる声であいさつをしている。	3.7	3.4		3.9	
健康や安全の育成 「伸びた」が実感できる授業づくりと自分たちで	目指す姿の定着(自分の命を守る力)	自分の命は自分で守る力が高まっている。	4.1	4.1		4.2	
	危機回避能力(危険を「見立てる」力)の育成	事故防止に努め、命を第一にする指導に心がける。	4.4	4.3		4.4	
	目指す姿の定着(体力づくり)	児童は、進んで外で遊んでいる。	4.5	3.9 ◎		4.2	
	めあてをもたせた体力づくり	運動に親しむ態度を育てる。	3.8	3.4		4.2	
	健康的な生活力の育成	自分の心身の状態に関心をもち、健康で安全な生活を送ることができる指導を行う。(「けいこうカード」の活用など)	4.2	4.1		4.4	
	定期・日常的な教育相談体制の充実	日常的な教育相談ができる場が一人一人に位置づくように心がける。	4.3	4.3		4.5	
	職員の危機回避体制	「大丈夫かな?」「ちょっと変だな?」と思ったら、すぐ報告・対応に努める。	4.4	4.4		4.6	
	家庭や地域との連携による健全育成	家庭や地域と連携して、健康安全教育を推進する。	3.7	3.9		4.2 ×	
	自然と歴史を基 とした地域連携(ふるさと教育)	目指す姿の定着(郷土愛)	4.3	3.9		4	
		自然と歴史を基にした「ふるさと学習」の充実	4.2	3.3 ◎		4.2	
		地域人材(地域団体)の活用	4.3	4.0		4.2	
ふるさと教育 自然と歴史を基 とした地域連携(ふるさと教育)	家庭や地域との連携による健全育成	家庭や地域と連携して、ふるさと教育を推進する。	4.2	3.3 ◎		4.2	
	自然と歴史を基 とした地域連携(ふるさと教育)	目指す姿の定着(郷土愛)	4.3	3.9		4	
		自然と歴史を基にした「ふるさと学習」の充実	4.2	3.3 ◎		4.2	
		地域人材(地域団体)の活用	4.3	4.0		4.2	
	家庭や地域との連携による健全育成	家庭や地域と連携して、ふるさと教育を推進する。	4.2	3.3 ◎		4.2	
	自然と歴史を基 とした地域連携(ふるさと教育)	目指す姿の定着(郷土愛)	4.3	3.9		4	
		自然と歴史を基にした「ふるさと学習」の充実	4.2	3.3 ◎		4.2	
		地域人材(地域団体)の活用	4.3	4.0		4.2	
	家庭や地域との連携による健全育成	家庭や地域と連携して、ふるさと教育を推進する。	4.2	3.3 ◎		4.2	
	自然と歴史を基 とした地域連携(ふるさと教育)	目指す姿の定着(郷土愛)	4.3	3.9		4	
		自然と歴史を基にした「ふるさと学習」の充実	4.2	3.3 ◎		4.2	
		地域人材(地域団体)の活用	4.3	4.0		4.2	
	家庭や地域との連携による健全育成	家庭や地域と連携して、ふるさと教育を推進する。	4.2	3.3 ◎		4.2	

5できた 4おおむねできた 2ややできてない 1できてない

大桑小グランドデザイン2023

学校の教育目標

力いっぱいやりぬく 大桑の子

市の基本理念「師を仰ぐ心」を養う

「師」とは、親・先生・先輩・地域の人々
「子」は、人々の熱き思いに育まれていることに感謝し、
教育は、それらの人々を尊ぶ心を養う。
〈学校教育の課題解決のアプローチ〉
・いじめ、不登校等、長年学校が抱え続ける課題解決へのアプローチ
・10年先から今を見た教育の役割へのアプローチ

<学校の教育目標の具現に向けた経営方針>大桑で学び大桑で育ち大桑に貢献する人づくり

～「自ら考えて行動する力」と「話す・伝える・説明する力」を有する児童の育成～

<合言葉>

すすんで

自分たちで

みんなのために

・自ら考え、行動する力

・自分たちの力でよりよい学びや生活を築く力

・学校、家庭や地域に貢献する力

めざす姿

めざす姿

めざす姿

・進んで挑戦し、
あきらめずにやり抜く

・ルールを守り、相手を思いやり、助け合っ
て、自分たちの力でよりよく学び、生活する

・仲間、家族（学園）、学校、地域を大切にし、みんなのために活動する

<総合的な学習の時間>

・「教師が与える課題」ではなく、「児童が自ら考える課題」の設定、探究、まとめ、発表
・話す力、伝える力、説明する力の育成 プレゼン力
・福井市立一乗小学校との交流

< 特別の教科 道 徳 >

・「教師が教える」から「児童が気付く」道徳指導へ
・道徳の時間と日常のつながり
・道徳の時間と日常生活での実践をつなげる指導
・児童が気付く指導

< 教 科 >

・「教師が教える」から「児童が学ぶ」教科指導へ
・読み、書き、計算の力の育成
・意見を話す場の意図的な設定
・相手意識をもって伝える指導
・順序立てて、説明する力の育成
・三校交流学習（高学年）

< 特別活動 >

「教師の指示で」から「児童が考えて」動く特別活動へ
・縦割り班で協働する児童会活動
・生活をよりよくするための活動の工夫
・三校交流活動
・大桑校区防災訓練

【体験活動を通して豊かな感性の育成】 森と川の学校(5年)、山と歴史の学校(6年)、サツキマス研修(6年)、修学旅行(6年)

○五感を働かせて体験し、物事を直感的、感覚的にとらえる体験により、豊かな感性を育成。教育課程での教科の学びとして位置づけ。

○「なぜ、どうして」と自分で課題を設定し、「どうしたらよいか」と自ら考え、各教科で身に付けた見方、考え方を用いて解決を図る。

【小規模連携校】

適正規模検討委員会 小規模校の保護者の「学級11人～20人程度が望ましい」を具現する

低学年：交流活動、交流学習（生活科、各教科）仲間関係の広がり

高学年：交流学習、オンライン学習、合同での校外学習 高富中学校への円滑な接続

大桜保育園との連携：保育園児と一緒に活動、学習

福井市立一乗小学校との連携：交流3年目、大桑小児童が一乗小へ訪問(隔年)、歴史教育(一乗谷朝倉氏と大桑土岐氏のつながりを現代に生かす。交流を通して互いに学びあう。

大桜保

福井市立一乗小

大桑小

桜尾小

梅原小

高富中学校

【基盤となる指導】日常生活の基礎・基本にかかわる指導

安心感のある生活 : 「きまり・約束は守る」「いじめを許さない」 学校いじめ防止対策基本方針の対応

美しい環境 : 「学校(教室)は、美しい環境を保つ」 掃除 後片付け 掲示物 美しい文字

互いを尊重する関係 : 「全校の合い言葉 『すすんで』 『じぶんたちで』 『みんなのために』」

【事務部の主体的参画】

<事務部経営方針>

児童にとって安心安全な学校環境づくりに努める。

【教師の構え】

基礎基本の徹底

国語、算数を中心に、読み、書き、計算の技能の習得に向けて、徹底的に指導する。

【児童の願いを実現する～教育から学習への転換～】 児童の最上位目標 **「元気な学校」**

・児童が願う学校像→みんなが元気な学校 きれいな学校 けんかをしない学校 いじめゼロの学校 仲のよい学校 運動ができる学校 教えあえる学校 あいさつができる学校 助け合える学校 など

・になりたい自分→やさしい人 困っている人を助ける人 運動が好きな人など 聞き取り2023.1.10

【各教科】

・基礎基本の徹底を図る。読み書き計算
・書く時間、話す時間を授業に位置づける
・書き方、話し方を指導し、児童が書きやすい、話しやすい指導をする。
・デジタル教科書、タブレットのアプリ
・G I F U W e b ラーニング

【学級活動】

・児童主体の話し合い活動を位置づける。
・提案→検討→採決→決定→実行→振り返りのサイクルを児童が中心となって進める。
・常時活動から、創造的な活動へ転換する
・楽しい活動を進めて楽しい学校づくりへつなげる

【委員会、係活動】

・当番活動の徹底と創造的な活動の創出。
・なかよし班単位での活動を児童主体で行う
・様々な遊びを中心に、楽しい学校づくりへ
・児童にできることは、児童にさせる。

指標

・児童に、基礎基本が身に付いたか
・「話す」「伝える」「説明する」力を付けた児童を育てたか

・話し合い活動ができる児童を育てたか
・児童自らが考え行動する力を育てたか

・仕事を創り出す児童を育てたか
・自治的な活動を作り出す児童を育てたか

【幼保小中連携】

・幼保の指導を引き継ぎ、実践し、中学校へつなぐ

家庭・PTAとの連携
「家庭の成長」＝「子供の成長」

・PTAスローガン「もっと明るく元気なPTA」
～まず「大人から」仲良く明るく元気になる～
・学校の指導指針（自分で決める）と子育て指針の共有
・在宅型と参加型の家庭教育学級
・学校評価を活用した経営改善
・家庭学習の充実と連携

コミュニティ・スクール
大桑小学校運営協議会
「共に育てる」

学校も家庭も地域も
「共に育てる」

地域・関係諸機関との連携
「地域と元気を共有しよう」

・「かしの木フェスティバル」の実践
・若松学園との日常的な連携 園長校長交流
・地域人材や団体から学ぶ校外学習等
・小規模校連携（大桑・桜尾・梅原）
・防災士と連携した安全教育・防災教育
・桜、ホテル観賞、夏祭りなど地域行事から学ぶ
・企業、香り会館、十五社神社など地域から学ぶ

令和5年度 山県市小規模小学校（高富中学校区小規模校3校）連携推進事業構想（案）2020.0203

＜市＞〇やまがた教育ビジョン 2020

-義務教育9年間で目指す児童生徒像-

- * 違いを認め、それぞれが努力し、あたりまえに支え合える人
- * 自分の頭で考え、多様な人と協働し、新たな価値をデザインできる人

高富中学校区小規模校3校の状況

- 一人一人の活動の機会が保証される。
- 教員一人当たりの児童数が少なくきめ細かな指導・援助ができる。
- 人間関係が固定化されている。
- 少人数であるため学習内容が限定される。
- 考えの違う人との対話や議論を通して切磋琢磨する機会が少ない。
- 集団が大きくなる中学校への生活を心配する児童がいる。

3校の目指す児童の姿

梅原小学校	大桑小学校	桜尾小学校
● 同年齢の仲間に積極的に関わり、対等に会話することができる。 ● 人と関わることの楽しさを味わうことができる。 ● 自分で考えたり、企画したりして発信する楽しさを味わうことができる。	● 心身ともに元気な子 ● 困っている仲間を助けるなど、やさしい子 ● 運動を頑張る子 ● 勉強を頑張る子 ● 誰とでも話せる子	● ものごとを自分のこととして受けとめ、進んで関わるができる。 ● 互いの立場を尊重しながら考えを伝え合うことができる。 ● 健やかな心身を自分からつくり出すことができる。

山県市小規模小学校（高富中学校区小規模小学校3校）連携に期待すること

＜ねらい＞

- ◇ 小規模校のよさを生かしながら、3校交流による多様な集団の中での交流学习や交流活動を通してコミュニケーション等の基盤となる言語能力や表現力の育成を図る。
- ◇ より大きな集団の中での学習や活動を通じて、児童の学校生活や学習環境の充実を図るとともに、人と人とのつながりを大切にする豊かな心を育む。
- ◇ 同じ中学校へ進学する仲間としての絆を深める。

＜期待する成果＞

- コミュニケーション能力の向上
- 人間関係力・社会性の向上
- 中1ギャップの解消

令和5年度初年度の方角

- 初年度である令和5年度は、Try and Errorの年と考えて、「楽」・・・児童も教師も楽しい

楽しい

時間的・経済的・こころのゆとりをもってできる学習や活動を実施する。

- 年間30時間程度（例：1回の学習・活動は3時間×年間10回程度）実施する。

- 低・中学年の活動を多めに設定する。

＜想定される課題＞

- 3校での日程調整
- 高学年の時間数の確保
- 教科担任制や福祉学級の授業への影響
- スクールバスの確保
- 評価（成果検証）
- 保護者・地域の理解 等

＜具体的な学習内容＞

低学年：生活科の学習、中学年：社会科の校外学習 高学年：英語科のコミュニケーション活動 等

令和5年度大桑小学校の主な年間行事（案）

1 学 期	4月	7日 入学式・始業式 14日 命を守る訓練 18日 全国学力調査（6年生） 19日 1年生を迎える会 20日 学校運営協議会 21日 授業参観・PTA総会・学級懇談会 22日 開校記念行事城山登山
	5月	20日 運動会 日 交通安全教室
	6月	14日 森と川の学校（5年生）（～16日） 21日 安全サポーターとの対面式 30日 合同地区懇談会 日 命を守る訓練（不審者対応）
	7月	12日 個別懇談（～14日） 20日 終業式
2 学 期	8月	28日 始業式 29日 宝物展（～31日）
	9月	1日 命を守る訓練 日 授業参観・懇談会
	10月	6日 就学時検診 12日 修学旅行（6年生）（～13日） 日 給食試食会 日 大桑地区防災訓練 日 山と歴史の学校（6年生）（2日間）
	11月	日 かしの木フェスティバル 日 サツキマス研修（熊野市への宿泊研修1泊2日・6年生）
3 学 期	12月	20日 個別懇談（～22日） 26日 終業式
	1月	9日 始業式 10日 書き初め大会 日 命を守る訓練 日 高富中学入学説明会（6年生）
	2月	8日 新1年入学説明会 22日 6年生を送る会・学級懇談会 日 学校運営協議会
	3月	25日 卒業証書授与式 26日 修了式・離任式

※今日現在の予定ですので、変更は随時あります。参考程度にご覧ください。